

2016年10月号 / No.207 / 平成28年9月28日発行



# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



ズグロカモメ幼鳥・東よか干潟 (大塚郷) (撮影:加藤芳隆さん)

## 野鳥さが207号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 2016 さが環境フェスティバル in 森林公園のご案内-----3ページ
- 唐津市の風力発電設置に関する報告（第3回）-----4ページ
- 各地の観察会報告-----5ページ
- 皆さんからのおたより-----7ページ
- 有明海の満潮時刻-----13ページ
- 近隣地区の観察会情報-----14ページ
- 観察会会場までの案内-----15ページ
- 観察会などのお知らせ（2016年10月～12月）-----16ページ



## 役員会報告

(事務局: 島田洋)

【日 時】9月11日(日)

【参加者】宮原明幸、青柳良子、馬場清、中原正義、橋本泰博、加藤芳隆、蒲原留美、島田洋

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) 環境フェスタについて

- ① 11月11日午後より会場の準備をする。
- ② 写真展示、カササギバッジ販売、野鳥塗り絵、牛乳パックのエサ台づくり、入会案内などを行う。

(2) オスプレイの件

- ① オスプレイについては、安全保障や環境保護などの面で様々な意見が交錯している。
- ② 安易な発言をすると野鳥の会が政治的に利用されるおそれがある。
- ③ 少なくともラムサール条約の対象地域は尊重するよう主張していく。

(3) ハス田におけるテグスの件

- ① ハス畑にテグスが張られており、野鳥がこれに引っかかって犠牲になっている。
- ② ハス畑のテグスについては、JAと協議する予定となっている。

(4) 傷病鳥獣の保護に関して

- ① 傷病鳥獣の保護・治療に関しては、一部の動物病院や動物園が受けてくれるらしい。
- ② 治療が終わった後も養生が必要であろう。
- ③ 傷病鳥獣の養生を引き受けてくれる人を探している。
- ④ 具体的には、佐賀県生産者支援課から支部へ相談があった。

(5) 愛鳥モデル校関連

- ① 県内では伊万里市立東山代小学校、玄海町立玄海みらい学園の2校が対象となっている。
- ② 巣箱づくりは、材料の準備は伊万里市内で行う。

(6) カラス調査

- ① 佐賀市環境政策課からの委託事業である。
- ② 10月2日(日)午後4時から佐賀市内の4か所でカラスのカウントを行う。

(7) その他、行事予定などについて話し合いを行った。





## 2016 さが環境フェスティバル in 森林公園のご案内

### 日本野鳥の会佐賀県支部 3 回目の出展！

「さが環境コラボ事務局 特定非営利活動法人 温暖化防止ネット」の呼びかけです。昨年「どん<sup>3</sup>の森」で開催されましたが、今年は森林公園です。

「野鳥たちが安心して棲める環境を！」という願いを多くの方に伝えられるといいな！という想いで今年も出展します。

【日 時】 11月12日(土)・13日(日) 10:00~16:00

【会 場】 県立森林公園(佐賀市久保田町)

野球場前の広場です。野鳥の会のブースには緑色の旗を立てますので、それを目印にお越し下さい。

#### 【展示内容】

- ・佐賀県内で観られる野鳥の写真展示
- ・佐賀県鳥「カササギ」に関する特別展示とバッジ販売

#### 【体験コーナー】

- ・「庭に野鳥を！」・牛乳パックを使っての「エサ台づくり」
- ・野鳥の「ぬりえ」

#### 【入会促進のための取り組み】

- ・1年間会費無料の「お試し会員」のお誘い

#### 【その他】

- ・野鳥関連グッズの販売
- ・来場者へのプレゼント(野鳥の写真ハガキ・財団本部からのプレゼント品)

などを考えています。

そこで、会員の皆様をお願いします。

次の6つの時間帯でお手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、

青柳良子(090-1659-7353)までご連絡ください。ブース当番は、来場者数のカウント、ぬりえやエサ台作りの補助、写真の説明、プレゼント渡し・・・などの仕事があります。(各時間帯とも5~6名)

人手がたくさん欲しいのでよろしく願いいたします。

- ・11日(金) 前日準備 ① 13:30~15:30

本庄公民館からパネル・机を運び、組み立てと写真展示をする。

- ・12日(土) ② 9:30~12:30 ③ 12:30~16:00

- ・13日(日) ④ 9:30~12:30 ⑤ 12:30~16:00

- ・14日(月) ⑥ 9:00~11:30 搬出(本庄公民館へ)

お手伝いいただいた方には昼食代として500円お渡しします。

ご連絡いただいた方に集合場所や駐車場などをお知らせします。





## 唐津市の風力発電設置に関する報告(第3回) (事務局:島田洋)

### 【はじめに】

唐津における風力発電所設置は事業が進行しつつあります。  
 その中で自主環境アセスメントも行われています。  
 今回その環境影響評価についての説明を受けたので報告します。

【日時】2016年8月2日(火)

【場所】佐賀駅前 ワシントンホテル佐賀カフェレストラン

【出席者】畔池啓太(自然電力)、竹岳秀陽(日本気象協会)  
 佐久間仁、島田洋(日本野鳥の会佐賀県支部)

### 【面談の内容】

★環境アセスについて説明を受けた。

- ① 春季の渡り鳥調査が行われた。
- ② 調査地点と日時は下記のとおりである。飛翔の高度も調査された。

調査期間	調査時間	調査地点		
		発電所予定地	鏡山	加部島杉ノ原展望台
5月3日	6:00~13:30	●	●	
5月4日	8:00~16:00	●	●	
5月5日	8:00~16:00	●		●

- ③ 調査は日本気象協会の専門スタッフが行った。
- ④ ハチクマ、サシバ、ハイタカ、アマツバメなど6種類の渡り鳥が確認された。
- ⑤ 風力発電所設置行のそばには大きなため池がある。ミサゴが確認された。
- ⑥ 一般鳥類も調査された。前記の渡り鳥も含めて30種類が確認された。
- ⑦ ハチクマは、加唐島から加部島を経て名護屋大橋方向へと南下するルートで飛翔する。
- ⑧ 渡り鳥の飛翔高度はいずれも120m以上であった。
- ⑨ 風力発電設備は、回転するブレードの先端までの最高の高さが約121mである。
- ⑩ 渡り鳥の飛翔を妨害する高さではないと推測される。

★質問、意見交換、情報

- ① ミサゴが目撃されているが、その繁殖への影響はどうだろう。そのおそれはなさそう。
- ② 2016年8月末に地元の説明会を行う。
- ③ 風力発電所の工事は2017年2~3月より開始。  
稼働は2017年10~11月となる。





## 各地の観察会報告



### ■脊振山観察会報告（神崎市）

【日時】 平成 28 年 7 月 17 日

【参加者】石丸幸子、江口富子、桐畑勝代、古賀郁香、澁江拓司、高山英一、田辺恵子、徳淵義美、長岡 保、長岡孝昌、中尾祥子、西村富明、福田康典、松下俊範、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】キジバト、ホトトギス、トビ、ハヤブサ、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ミソサザイ、トラツグミ、クロツグミ、コサメビタキ、オオルリ、キセキレイ、イカル、ホオジロ、ソウシチョウ

【案内役からの一言】

佐賀の町は小雨が落ちていました。 脊振の山はすっぱり雲に隠れ、今日は中止だろうと向かいました。 脊振神社下宮の集合場所に着いた時には、雲は消え日も射しています。 来られている方も 14 人、意外に多い参加者です。

この時期、木々の葉が繁茂し鳥達は換羽中で、なかなか見ることは出来ませんが、ソウシチョウの喧しく鳴く中、合間を縫って聞こえる歌声、林を横切る鳥影等、19 種類確認出来ました。

カラスヘビやトカゲ、サルナシの実やマタタビ、ヤマアジサイの花等々、諸々の自然に触れ皆さんご機嫌な探鳥会でした。

### ■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

①【日時】 平成 28 年 7 月 24 日

【参加者】友岡周一、加藤芳隆、橋本泰博、豊岡三郎、中島修、中島由美子、岡崎章、澁江拓司、沖光昭、徳淵義実、福田康典、原秀親、吉澤進、石丸幸子、江島忠磨、甲木弘美、古賀郁香、山中美由起、長岡保、長岡景子、高山英一、中村さやか、古川昌高、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】アオサギ、ダイサギ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、オバシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ズグロカモメ

【案内役からの一言】

連日、真夏日・猛暑日が続く、当日も朝から暑い中、多くの参加者が集まる。 本日のテーマは、前日に観察された「繁殖地より戻ってきた今季生まれのズグロカモメの幼鳥を見よう」

干潟の上には繁殖地より早々と戻ってきたソリハシシギ・メダイチドリ・ハマシギ・アオアシシギの群れが目立つ。

頭の黒いズグロカモメの成鳥夏羽が飛来する。

満潮時にやっと目的のズグロカモメ幼鳥が現われる。全身茶褐色と白の斑がある。



（写真提供：加藤芳隆さん）



暑さのため、予定より早めに鳥合わせを行い、観察会を終了した。

②【日時】 平成 28 年 9 月 4 日

【参加者】永島博、橋本泰博、徳淵義実、吉澤進、青柳隆、青柳良子、奈須家栄、江口富美子、中島修、中島由美子、宮原明幸、加藤芳隆、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】キジバト、アオサギ、ダイサギ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ムナグロ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、サルハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、オオハシシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、カラフトアオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ミサゴ、トビ、ハシボソガラス、ショウドウツバメ、ツバメ、セッカ、ホオジロ

【案内役からの一言】

台風 12 号が佐賀を直撃の予報のため開催を諦めていたが、集合時刻には 8 名が集まり雨も上がり観察会を開始する。 本日のテーマは二日前に見られた「カラフトアオアシシギを探そう」 堤防を下りてすぐにカラフトアオアシシギが現れるが、高速でえさを取りに走り回った後に飛び立つ。 満潮時前に中央部付近の堤防上で観察中の宮崎さんより「カラフト」の声。 みなさん一斉に注視する。

参加者全員、本日の目的を果たす。 干潟も水没し、鳥合わせ。 シギ・チドリ 24 種を確認。 9 月に入り、渡りのピークを迎えた。

探鳥日記 中村 さやか

2016年9月

ホウロクシギ

東よか干潟 (佐賀市)

ラムサール条約で有名に

Far Eastern Curlew

杵藤地区を飛び出し、ホウロクシギなどを観察するために今回は佐賀市の東よか干潟に行ってきました。

2015年にラムサール条約に登録された東よか干潟は、昔から多くの鳥を観察できる場所として全国的にも有名でしたが、ラムサール条約に登録されたことでますます知名度が上がりました。

野鳥観察をする人は年配が多いという印象がありますが、最近では大学生や20代の社会人の方も増え、関東で開催される「young探鳥会」には毎回若い方がたくさん参加されています。

ここ東よか干潟でも関東などから来られた若いバードウォッチャーにお会いする機会も増え、行くたびに全国の方と交流できるのもうれしいです。(日本野鳥の会佐賀県支部事務局長)

(16/9/23 付け：佐賀新聞)



## 皆さんからのおたより



### ● 「鳥図の鳥たち 第13回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

今回登場の鳥たちは前回同様の標準和名が不明で漢字表記が判らないものが2種とシトドです。 そのうちの2種は“黄にクサカムリ+住”であり、もう一つは“芳原にクサカムリ+住”で表記された個体です。 シトドは由来辞典ではホオジロ・アオジ・クロジ類の古名とあります。 2種のうちの前者は「外来鳥ハンドブック」見たところガビチョウに後者はソウシチョウに似ているような気がします。 シトドは図鑑で見るとミヤマシトドに似ているような気がします。 なお、2種の鳥の漢字表記の住は図譜をよく見ると横棒がもう一本あり何と読むか判りません。



シトド



芳原●



黄●

### ● 「八東ふるさとの森探鳥行」・・・宮原 明幸さん（佐賀市）

【期 日】 平成28年7月8日～10日

【参加者】 加藤芳隆、蒲原留美、田中照美、中島由美子、中原正義、橋本泰博、八木ひとみ、宮原明幸  
(※掲載の写真はすべて橋本泰博さん撮影)

鳥取県の山中、八頭町の『八東ふる里の森』へオオコノハズク・コノハズクを探しに行ってきました。 当初の計画は、9日～10日でしたが、8日の夜から出発することに。 またまた変更、広島県三次のブッポウソウ経由で。

今回は加藤さんの企画、レンタカーから宿・行程全て手配して頂きました。

その上、午後8時に自宅へお迎え、参加者全員を拾って広島へ向け夜通し運転されます。

午前3時、作木町伊賀和志（さくぎちょういかわし）にカーナビの案内で到着。

ブッポウソウ観察小屋の脇に車を止め、夜明けまで仮眠をとります。

※ 途中、道を横切るシロマダラ【低山地に生息する夜行性の蛇】を見つけました。

これは珍しい！

“ツキヒホシ・ホイホイホイ♪” 夢かうつつかさんコウチョウの声で目が覚めます。

夜は明け、皆さん鳥を探されています。

のどかな田園風景の広がる里山です。 空はどんより曇り、時々小雨が落ちて来ます。

早速観察小屋の中へ。のぞき窓からはブッポウソウ用の巣箱が3箇所には掛かっているのが見えますが、近くに姿は有りません。



直ぐ側に三江線(さんこうせん)【島根県江津と広島県三次を結ぶローカル線】の高架が掛かっています。ちょうど雨宿りに良く、ここから周りを見渡します。尾の長いコシアカツバメが飛び交い、幼鳥が電線に止まっています。

『ブッポウソウが電線にいます!』と加藤さん。遠くの電柱に掛けた巣箱の脇に止まっているブッポウソウを探し当てられます。番(つがい)でしょう、もう1羽。しばらく止まっていたましたが、朝食の時間でしょうか? 餌運びが繁くなります。



ブッポウソウ

巣箱の中の雛も見えます。アブラゼミを与えました。

“ゲッゲッ” 反対側の山からも声がしています。

鳥取へ向けブッポウソウの里を離れます。お天気は回復し青空が見えています。三次の町で朝食8時、中国道を走り岡山県の津山インターへ。

津山で下り、鳥取方面へ

以前『八東ふるりの森』を訪れた時に津山で食べたB級グルメ“ホルモンうどん”

『これは、美味しい!』と中島さんのご主人が絶賛されていたのを思い出しました。お昼は決まりです。B級グルメのブームは去っていました。道沿いにはためく幟は消え、お店も消えていました。(涙) お昼も食べそびれました。

津山の町は抜けてしまい、山間の智頭(ちず)町のスーパーで夜の食材を買い込み、先へ。

お昼過ぎに到着です。早速、今日お世話になるバンガローに荷物を降ろします。

バンガローは大きなブナの群生林の中に点在しています。

荷を降ろした後が大変! 今朝までの雨で道は泥濘(ぬかるみ)車が出ません。

タイヤの下に敷物をしても駄目! 皆で押しても駄目! JAFを呼ぼうにも圏外!

通りかかった車に牽引して頂き、事なきを得ました。

車は無事でしたが、田中さん、車を押す際に蜂の巣を踏んでしまい刺されました。

※ 刺した蜂は、クロスズメバチ【体調10mm~12mmの土中に営巣する小型のスズメバチ】で大変珍しい!

大騒動も収まり、探鳥開始。森には其方此方に巣箱が掛けてあります。

オオコノハズクは巣立ってしまったそうですが、コノハズクは未だ営巣中との案内です。

巣箱の見える場所には雨避けのビニールシートが張られ、折りたたみ椅子を設置、周りには立ち入り禁止のロープが渡してあります。鳥を驚かさない為の配慮でしょう。

バンガローの脇道を下って来られるバーダーに声を掛けます。『何か、出ましたか?』

『道脇にコノハズクが止まっています。すぐに分かりますヨ』早速、探しに。

バーダーが集(たか)っています。

カキズク【コノハズクの赤色系】です。肉眼では木肌に見えます。

先のバーダーがライトの用意を当然のような顔で始められます???

私達は、他のポイントへ。

アカショウビンの営巣場所です。

『カメラの人が巣の近くへ入って、それから居なくなった』と先のバーダーが言われていましたが、駄目元で探すことに。



『あちらで何か？見られていますよ』 通り掛かりのバーダーが教えてくださいます。  
アカショウビンです、たっぷり見せてくれました。

暮れかかる頃、バンガローへ戻り夕食の準備・・・食堂が有りませんので自炊です。  
バンガローには水道・ガスコンロ・鍋・薬缶それに布団の用意は有ります・・・  
ご婦人方は甲斐甲斐しく働かれます、野郎は酒を呷り太平楽。

森はとっぷり暮れました。 コノハズクの声を聴きに行きましょう。

先のカキズクの止まっていた処へ。 巣箱はライトアップされ、その前には大きなレンズ  
が林立。 巣箱からはコノハズク♀が顔を出しカメラマンを睨み付けています。

カシャ！カシャ！カシャ！カシャ！ いたたまれず、この場を離れます。

すぐに暗闇の中にホタルが飛びます。空にはさそり座のアンタレスが赤く光り“ヒュー・  
チーン♪”トラツグミが切なく鳴きます。“ホッホ・ホッホ♪”アオバズクも遠くで。

管理棟の横に出ました。昼かと紛うほど明るく、コノハズクの巣箱が照らされ、カメラ  
が左右を向いて鎮座しています。

カシャ！カシャ！カシャ！カシャ！カシャ！ 巣箱から飛び去る鳥影。 反対側の木にも  
巣箱。 10mとは離れていません。

『コノハズクは、18時半頃に雌にせっせと餌を運んで来たけど、この時間は自分の腹を  
満たしているからあまり餌を運んで来ないです。向こうの巣箱は雛がいるから10分くら  
いで運んで来ます。』と館長さんの講釈。

コノハズクが巣箱のある木に止まります。 『はい、カメラを向けて』 ハロゲンライト  
で照らします。まるでモデル撮影会です。

**ここは自然と触れ合う施設では有りません。 写真家向けの観光スポットと化しています。**

営巣中の鳥のストレスとかお構いなし、ただの被写体でしか  
ありません。(怒)こんな環境の中でも、毎年繁殖するコノハ  
ズク・・・「ちょっと五月蠅いのを我慢すれば、天敵の心配は  
無い」と割り切っているのでしょうか？

“ブッキョッコー・ブッキョツコー♪” バンガローへ引き上  
げます。

“ツキヒホシ・ホイホイホイ♪ツキヒホシ・ホイホイホイ♪”  
今朝もサンコウチョウの声で目覚めます。

5時、恒例の早朝探鳥です。 先ずは林道のコノハズク。

ライトは消されカキズクは昨日の同じ枝で眠っています。

少しは分別があると一安心、10時くらいには消灯かな？

“キョロロロ・・・♪” 沢からはアカショウビンのトレモロ  
の声、カジカガエルも歌っています。

“キョッ・キョッ・キョッ♪” ゲラが飛びます。

森では、草花に詳しい八木さんも蘭のスペシャリスト橋本  
さんも初めてという「オニノヤガラ」や「ツチアケビ」、  
珍しいラン科の腐生植物を見せてもらいます。

管理棟横の巣箱へ。 ライトは付けっぱなし(怒) 一晩中点灯しているのでしょうか。

いきなり、拡声器放送『アカショウビンの鳴き声をテープで流した者がいる、出入り禁止



コノハズク



アカショウビン

にする云々・・・』 確かに、テープで鳥を呼ぶのはルール違反です！ ですが、それを大音量で言い立てるのも、いかななものか・・・すっかり不愉快になりました。ここは早々に離れ、岡山県立森林公園へ行くことに。

中国山地を縦断します。 空はすっかり晴れ渡り、タカが山の端を舞っています。首が長い！ ハチクマです。【昨日田中さんを刺したクロスズメバチの繭や幼虫は、ハチクマの好物です。『はちのこ』として食用にする地方もあります。くせになるお味ですヨ！】

山道を1時間、森林公園到着。 登山客でしょうか？ 第一駐車場は満杯です。7月、流石に鳥は期待出来ませんでしょから、カラマツ・ブナ・ミズナラ・カエデの森と湿原の風景、モリアオガエルの卵塊を見て帰ろうと園内へ。

これは酷い！ 管理センター前の植え込みはイノシシに掘りかえされていました。中央園路沿いや湿地には、夏の花が咲き競っています。 ノアザミ、ミズチドリ、トンボソウ、クモキリソウ、ヤマホトトギス、オカトラノオ、ウツボグサ、コバギボウシ、ホタルブクロ、ヤマアジサイ、etc. 八木さん、橋本さんは夢中です。

加藤さんはトンボに鞍替え？

『ツノハシバミ、トチ、ムラサキマユミ、等々・・・』 木々の説明は中原さん。それぞれの教を乞いつつオタカラコウの湿原まで。

鳥は、クイタダキ・コガラ・シジュウカラ・ホオジロそれにキビタキ・ウグイス・ホトトギスの声。 モリアオガエルは、オタマジャクシに孵っていました。

帰路に着きます。 高速へのアクセス道路は新しい道が出来、すっかり様変わり。森林公園へ訪れる度に利用した食事処の土産物屋は、潰れていました。(涙) お昼はおあずけ。 高速に乗ってから、大佐サービスエリアのメニューに『ホルモン焼きうどん』がありました♪。

トイレ休憩で立ち寄った七塚原サービスエリアのトイレの軒下では、コシアカツバメの瓢箪型の巣を観察・・・佐賀に着いたのは20時過ぎでした。

【観察出来た鳥種】キジバト、アオバト、カワウ、アマサギ、アオサギ、ダイサギ、ホトトギス、ハチクマ、トビ、コノハズク、アオバズク、アカショウビン、ブッポウソウ、サンコウチョウ、ハシボソガラス、クイタダキ、コガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ツバメ、コシアカツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ミソサザイ、トラツグミ、キビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ

### ●「キジバト保護」・・・永島 博さん（佐賀市）

酷暑真っ只中の8月のある日、熱くたぎったアスファルト道路の中央線付近でうずくまっているキジバトを保護しました。 口を開け呼吸も荒く両目は真っ赤に充血し腫れあがっていました。 全く逃げる気配もなくあばれることもませんでした。とりあえず仕事場へ連れて帰り、涼しく薄暗いところで落ちつかせます。しばらくすると右目は回復、でも左目はどうかな。そして、佐賀県 生産振興部へ電話をして指示を仰ぎましたが、希少種ならともかく狩猟鳥は対応できないとのこと。それで、近くにあった動物病院を思い出し、そこへ連れていきました。 病院では飛べるくらい回復していたので、獣医さんも「飛べるから大丈夫でしょう。おそらく車に当って

頭でも打ったのでしょ。 もうしばらく様子見て元気になったら放して下さい」との事。

夕方、森林公園へ。 仲間の鳴き声に反応し「デデッポーポー」と鳴き返しますが、なかなか飛び立とうとしません。 そこで促すように背中を軽くツンツン。元気に羽ばたいていきました。 よかった。 そして無償で診てくれた獣医さんに感謝です。



### ●「アイスランド鳥見旅行」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

7月15日～19日に夫婦でアイスランドを旅行しました。 目的は北極圏近くの繁殖地で過ごす鳥たちの様子を見ることでした。 福岡空港からヘルシンキまで10時間、アイスランドまで3時間。 気温は日本の冬の終わり頃くらいで、夜中でも真っ暗になることはなく、日が沈んだ直後のような明るい状態でした。

アイスランド紙幣の最高額、1万アイスランドクローネにムナグロ親子の絵がありました。 ムナグロは郊外のあちこちで見かけました。こちらで見られるのはヨーロッパムナグロのようです。

ネットで調べた鳥のいそうな場所をレンタカーで訪ねました。去年、ニュージーランドで海外初運転（左側走行）した主人が今回は右側走行に初挑戦しました。

アイスランドは多くの海鳥の繁殖地となっており、夏季には多種に渡る鳥を見ることができそうです。

3大見たい鳥はキョクアジサシ、ニシツノメドリ、ホンケワタガモでした。

キョクアジサシは世界一長い距離を飛び渡り鳥です。1年で北極圏と南極圏を旅します。北極で繁殖するものは北半球が夏の間北極に行って子育てをし、子育てを終えると、その後、夏を迎える南極まで渡る。そしてまた、南極の夏の終わりとともに、再び北極を目指して渡りをするそうです。キョクアジサシはレイキャビクの公園、郊外どこでも飛んでいました。アイスランドは火山の噴火でできたような土地なので、アジサシが好む木がなく草がうっすら生えているようなところがほとんどです。キョクアジサシも人間もお互い関心がないのか、生活道路のすぐそばで繁殖しているコロニーもありました。

ニシツノメドリ「パフィン」は『海のピエロ』と呼ばれて人気です。生活の大半を海で過ごしますが毎年春から夏にかけて、繁殖のためのコロニーを形成し、6割はアイスランドに飛来するそうです。巣立ちをしたひな鳥は親と一緒にまるまる2年波間で過ごします。レイキャビクからのパフィンウォッチングツアーは船で繁殖地の岩礁のそばに行きます。巣立ち間近のようなたくさんのパフィンがいました。ホエールウォッチング



「ムナグロが描かれている  
1万アイスランドクローネ」



ツアーで沖へ出ると、子の餌とりに大忙しのパフィンたちが飛ぶわ、泳ぐわと大忙しの様子が見られました。クジラは尾びれがちらっと見えるくらいなのですが、鳥好きにはニシセグロカモメ、フルマカモメ、キョクアジサシ、ウミバト、クロトウゾクカモメなどが見れました。

ホンケワタガモの主な生息地は北極海周辺で非繁殖期は海上で過ごすそうです。良質の羽毛の採取対象とされていました。ホンケワタガモは最初にマガモを湖で見えていたし、派手顔の雄をイメージしていたのでなかなか見つかりませんでした。帰国してから見返すとカモの雌と思っていたのはほとんどがホンケワタガモの雌でした。雄雌一緒に見たのは遠くに浮かぶ1家族だけでした。この時期雄は雄だけのグループ、雌は雛と行動しているようでした。



キョクアジサシ



ニシツノメドリ「パフィン」



ホンケワタガモ

その他にレイキャビックにはハイイロガンが探さなくてもあちこちにいました。驚いたのは都会育ちと思えるハイイロガン親子が交通量の多い道路横の歩道を歩いていたことです。この光景を2度見ました。郊外育ちのハイイロガンたちはさすがに私たちを見つけると離れていきました。ミヤコドリ、フルマカモメに行く先々で見ました。レイキャビック、ゴールデンサークル、アイスランド南海岸とまる3日間の鳥見でした。充分だと思った日程でしたが、時間があれば北部にも行きたかったです。

アイスランドのデジブックを作りました。

「アイスランド - 1」

<http://www.digibook.net/d/7ec4c313a1099eec21d88862a48716de/?m>

「アイスランド - 2」

<http://www.digibook.net/d/a045c75fa10dbca8215d0266e69c578e/?m>

「アイスランド - 3」

<http://www.digibook.net/d/a4048393a1099ca0b5380a662e96d798/?m>

## ● 「秋季・タカの渡り情報」・・・安井淳一郎さん（佐世保市）

【佐世保市・冷水岳】

9月9日 アカハラダカ 1羽、ハチクマ 27羽、ミサゴ 1羽

9月16日 アカハラダカ 74羽、ハチクマ 1607羽、ミサゴ 1羽

9月17日 ハチクマ 33羽のみ



9月21日 アカハラダカ3羽、ハチクマ226羽、ハヤブサ3羽、チゴハヤブサ2羽  
 9月22日 アカハラダカ4羽、ハチクマ81羽、ハヤブサ1羽、チゴハヤブサ1羽、  
 ミサゴ1羽

【佐世保市・烏帽子岳】

9月6日 アカハラダカ6羽、ハヤブサ2羽  
 9月8日 アカハラダカ6羽、ハヤブサ1羽、チゴハヤブサ1羽  
 9月9日 アカハラダカ1696羽、ハチクマ1羽  
 9月10日 アカハラダカ185羽、ハチクマ6羽  
 9月11日 アカハラダカ84羽、ハチクマ2羽、ハヤブサ1羽  
 9月13日 アカハラダカ37羽、ハチクマ8羽  
 9月14日 アカハラダカ843羽のみ  
 9月15日 アカハラダカ7990羽、ハチクマ10羽、ハヤブサ1羽、チゴハヤブサ1羽  
 9月16日 アカハラダカ6482羽、ハチクマ33羽、チゴハヤブサ1羽  
 9月17日 アカハラダカ7羽のみ  
 9月21日 アカハラダカ370羽、ハチクマ28羽、ハヤブサ1羽、チゴハヤブサ8羽  
 9月22日 アカハラダカ62羽、ハチクマ8羽、チゴハヤブサ2羽でした。



※「全国タカの渡りネットワーク」が今年からパソコンで見られるようになりましたので、  
 ぜひご覧下さい。 <http://www.gix.or.jp/~norik/hawknet/hawknet0.html>



## 有明海の満潮時刻 (白石・住ノ江港)



10月	11月
1(土) 9:17/5.6m 21:29/5.6m	3(祝) 10:59/5.2m 22:46/5.1m
2(日) 9:49/5.6m 21:56/5.6m	5(土) 11:58/4.8m 23:43/4.6m
8(土) 0:00/4.6m 12:51/4.4m	6(日) 12:34/4.6m
9(日) 0:39/4.3m 13:56/4.1m	12(土) 7:03/5.2m 19:22/5.4m
10(祝) 1:51/3.9m 15:49/4.1m	13(日) 7:57/5.6m 20:10/5.6m
15(土) 8:18/5.6m 20:41/5.8m	16(土) 12:33/5.1m
16(日) 9:07/6.0m 21:23/6.0m	20(日) 0:14/4.7m 13:16/4.7m
22(土) 0:25/4.7m 13:36/4.6m	23(祝) 3:57/3.8m 16:41/4.3m
23(日) 1:16/4.3m 14:51/4.3m	26(土) 7:12/4.7m 19:10/4.9m
29(土) 8:18/5.3m 20:23/5.4m	27(日) 7:52/5.0m 19:47/5.1m
30(日) 8:53/5.4m 20:53/5.5m	

### 満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

- 東よか海岸  
潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！
- 鹿島新籠海岸他  
潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。）



## 近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報  
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

### ■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：10月2日(日)、11月6日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：10月4日(火)、11月1日(火) 10:00～ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：10月8日(土)、11月12日(土) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：10月9日(日)、11月13日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：10月16日(日)、11月20日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：10月23日(日)、11月27日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

### ■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般・中学生以上 200 円 中学生下無料)

日時：10月2日(日) 10:00～ (定例探鳥会)

場所：小郡市・花立山 / 集合：10:00 花立山公園駐車場

担当：木原直人さん 携帯：090-4516-4467

日時：10月9日(日) 9:00～ (定例探鳥会)

場所：高良山(久留米市) / 集合：9:00 久留米市御井町・高良下宮社

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043

日時：10月23日(日) 9:00～ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・黒崎公園 / 集合：9:00 黒崎公園・第1公園グラウンド

担当：野田達行さん TEL：0944-58-1672

日時：10月30日(日) 溪流の鳥・矢部川探鳥会 (企画探鳥会)

場所：八女市矢部村周辺 / 集合：9:00 八女市黒木ふじの里

担当：松富士将和さん 携帯：090-7159-3933



### ～編集部からのお知らせ～

① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

② 投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯:090-5084-2649

(Eメール) [f\\_baba841@ybb.ne.jp](mailto:f_baba841@ybb.ne.jp)







## 観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

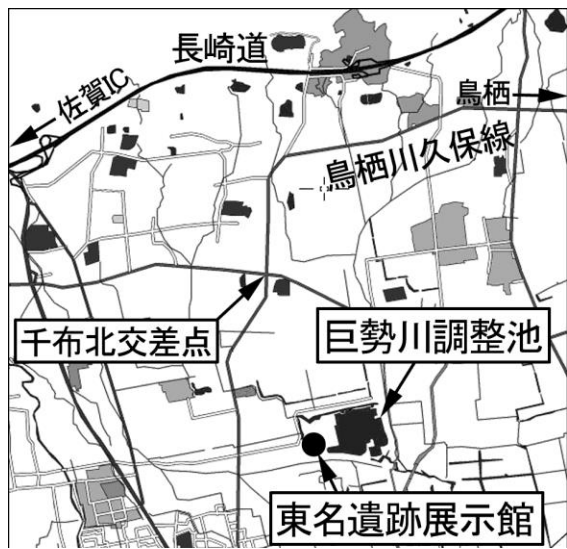
①10/2 ②10/16 ④11/3 東よか干潟



③10月23日 佐賀市・森林公園



⑥11月27日 佐賀市・巨勢川調整池



“編集Bの独り言” 久しぶりの独り言コーナーです。普段は連休などめったにないのですが、お盆になぜか6連休をもらったので10年ぶりに九重に山登りに行くことにしました。前回行ったのはちょうど10年前、野鳥の会で行った立中山登山。さらに、長者原からのメインルートで行くのはいつだったか思い出せないくらい昔です。連休のうち2日は靴やウェアなどを一新するためにアウトドアショップ巡り。2日を登山に当てました。久しぶりに行ってびっくりしたのは、若い人たちが増えていること。若者グループがたくさん来ていました。(でもジジ・ババ中心なのは変わりませんでした)そして着ている服が全く違うこと。黒のアンダーウェア上下に半袖、半ズボン。両手にはストック。なんか自分が浦島太郎状態でした。野鳥の会も若返らなければ。カッコだけでも。(^^) ちなみに一新したウェアは昔ながらのものです。自分には今流行りのものは着れないです。





## 観察会などのご案内 (2016年10月~12月)

### ①10月2日(日) ②10月16日(日) ④11月3日(祝)

#### 東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] いずれの日も 08:00  
佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台  
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225  
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560  
[見どころ] シギ・チドリの季節からカモ・カモメが中心の季節になります。

### ③10月23日(日)

#### 森林公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 09:00  
佐賀市久保田町 県立森林公園・北側駐車場  
[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286  
[見どころ] 探鳥会のメイン会場ではなくなりつつある森林公園ですが、地道に鳥を探しましょう。冬鳥たちがそろそろメインになります。

### ⑤11月12日(土)~13日(日) 2016 環境フェスティバル in 森林公園

[時間&場所] 10:00~16:00  
県立森林公園 野球場前広場  
[担当] 青柳良子さん(小城市) 090-1659-7353  
※お手伝いしていただける方を募集しています。  
詳しくは3ページの案内をご覧ください。

### ⑥11月27日(日)

#### 巨勢川調整池(佐賀市)

[時間&場所] 9:00 佐賀市金立町・巨勢川調整池内の東名(ひがしみょう)遺跡展示館駐車場  
[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286  
[見どころ] 池一周約2時間の間に、おもわぬ鳥に出会うかもしれません。

### ⑦12月10日(土)~11日(日) 出水・ツルウォッチングツアー

#### (鹿児島県)

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
※詳細は次号にて。参加希望者は早めに担当者まで直接申し込んでください。



## 共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ~日本野鳥の会佐賀県支部 会報~  
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル  
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636  
日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸  
事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-8863-5659)  
〒849-1315 鹿児島市三河内2974-1  
郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」